

## 本時のねらい

まとめた内容の英文を読んで、その内容を他者にわかりやすく伝えなおすことができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートは、簡単にカードの順番を入れ替えたり、書き直したりできるので、内容構成や伝える情報の順番を視覚化して考えやすい。
- ・英文テキストの録音は何度でも挑戦できるので、生徒自身の英語での発話練習量が自然と増え、英語表現や発音の習得に役立つ。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノートスクール
- ・Kahoot!
- ・Microsoft Word
- ・プロジェクター一体型スクリーン

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートを用いた基本文復習チェック（写真1）</li> <li>・Small Talk</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートのテスト機能を活用し、普段から間違いが多い文法事項を復習し、その場で確認する。</li> <li>・本日の内容に関連する画像をスクリーンに投影する。</li> </ul>
展開 (38分)	<p>(Review)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「睡眠」について学んだ前時の学習内容について Kahoot!を用いてクイズ形式で振り返る。（写真2）</li> </ul> <p>(Retelling①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容をまとめて自分のことばで相手に伝える（中間振り返り）</li> <li>・Retelling ルーブリック表を共有しながら、1 回目の活動を自ら振り返り、もっと上手にできるにはどうすればよいかを考える。</li> </ul> <p>(Retelling②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中間振り返り」での次回に活かしたいポイントを参考にし、教科書の内容に関連した初見の英文の内容を自分のことばでまとめて相手に伝える。</li> <li>・自分が伝えた内容をロイロノート上に録音して提出する。（写真3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Kahoot!を活用することでクラス全体が参加し、一斉同時に内容を振り替えることができる。</li> <li>・スクリーンに投影されたイラストをヒントにして英語で伝える。</li> <li>・ロイロノート上に録音し提出する際に、何度でも録音にチャレンジし、その中で最も上手に話せたものを提出するように指示する。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は「睡眠」について調べたことをまとめたレポートライティングを行い、それを口頭で発表するので、相手にわかりやすく伝えるための工夫を考えてくることを伝える。</li> <li>・学習記録シートに本時の振り返りを書き留める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートは Microsoft Word で作成する。タブレット PC を持ち帰り、家庭学習課題として取り組めるように、テンプレートを配信する。文法・単語チェック機能を活用させる。</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1 ロイロノートで基本文チェックをしている様子



写真2 Kahoot!を用いて、教科書の内容を復習している様子



写真3 ロイロノートに録音している様子

## 児童生徒の反応や変容

- ・ロイロノートのカードを順番につなげる機能は、話す順番を考えるのに役立った。同様の活動をプリント上で行うよりも、カードを用いて行うことで思考を視覚化するのに役立ったといえる。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・Kahoot!はゲーム形式で一斉に取り組めるため、楽しい雰囲気英語学習に取り組むことができる反面、単なるクイズゲームで終わらないように、教科書にある情報を答える事実発問だけでなく、行間を問う推論発問、自分の考えを問う評価発問を適宜組み合わせるなど、思考を深めるために質問の中身にもこだわる必要がある。ICT の活用目的とその効果をしっかり認識して活用することが大切である。